



なにげない感動をずっと。

FANCL

抗老化素材の開発（麴・キンミズヒキ）

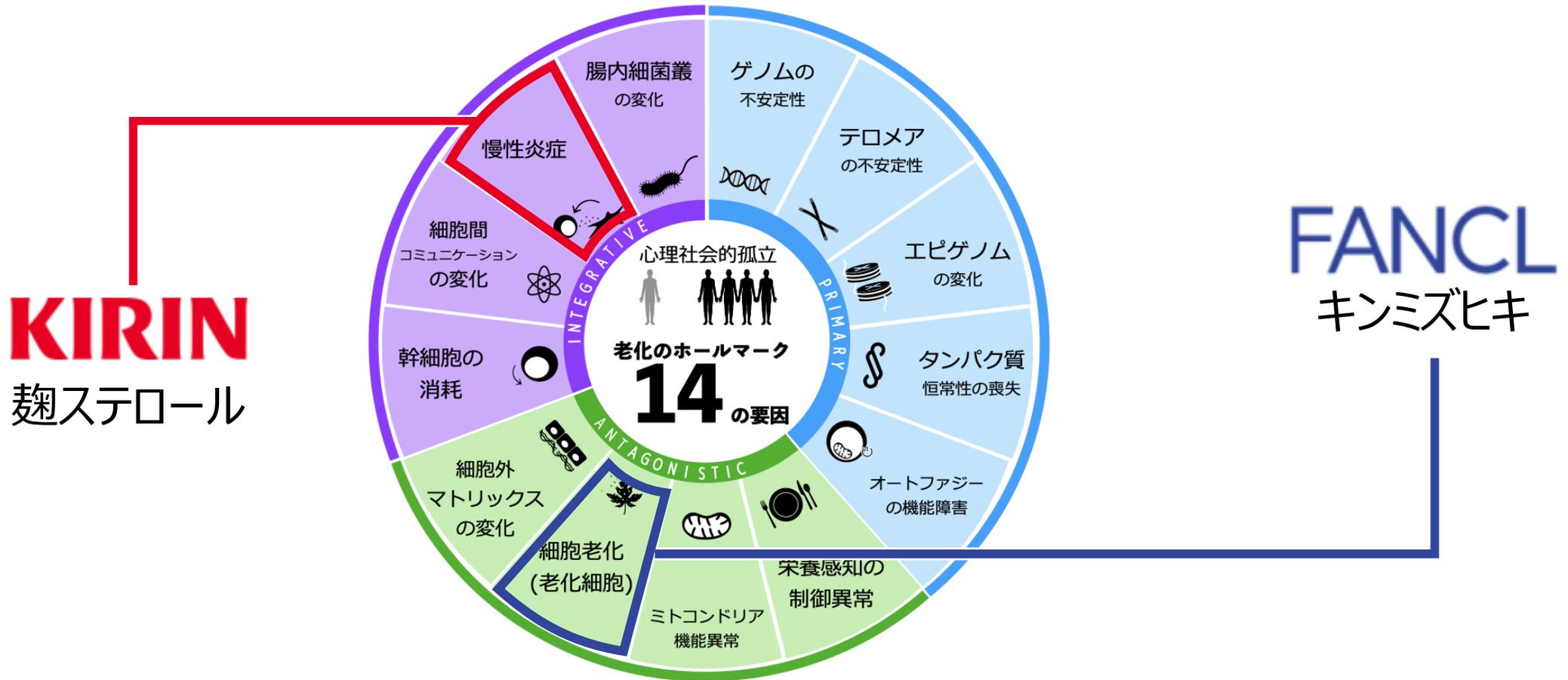
KIRIN R&D DAY 2025
キリンホールディングス株式会社 ヘルスサイエンス研究所

杉原 圭彦

KIRIN R&D DAY 2025
株式会社ファンケル 機能性食品研究所

林田 真理子

ファンケルとキリンの抗老化研究

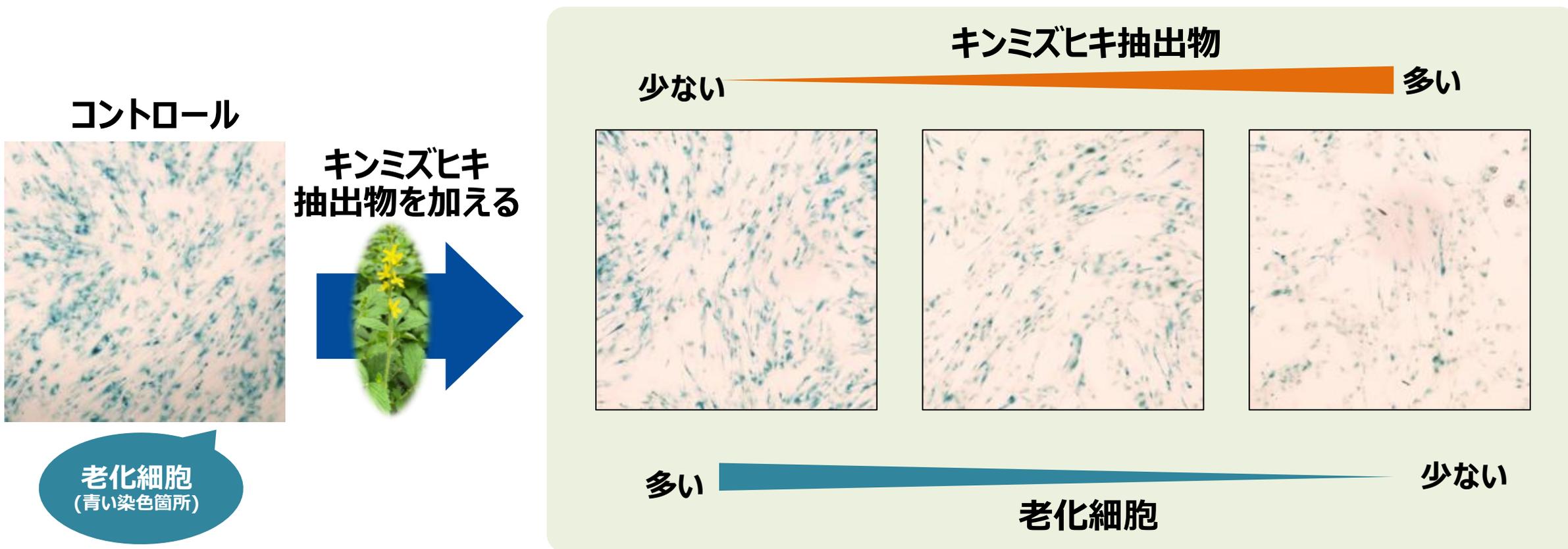


Cell.2023 Jan 19;186(2):243-278.

それぞれのアプローチで素材を発見

キンミズヒキ抽出物が“老化細胞”を除去することを発見

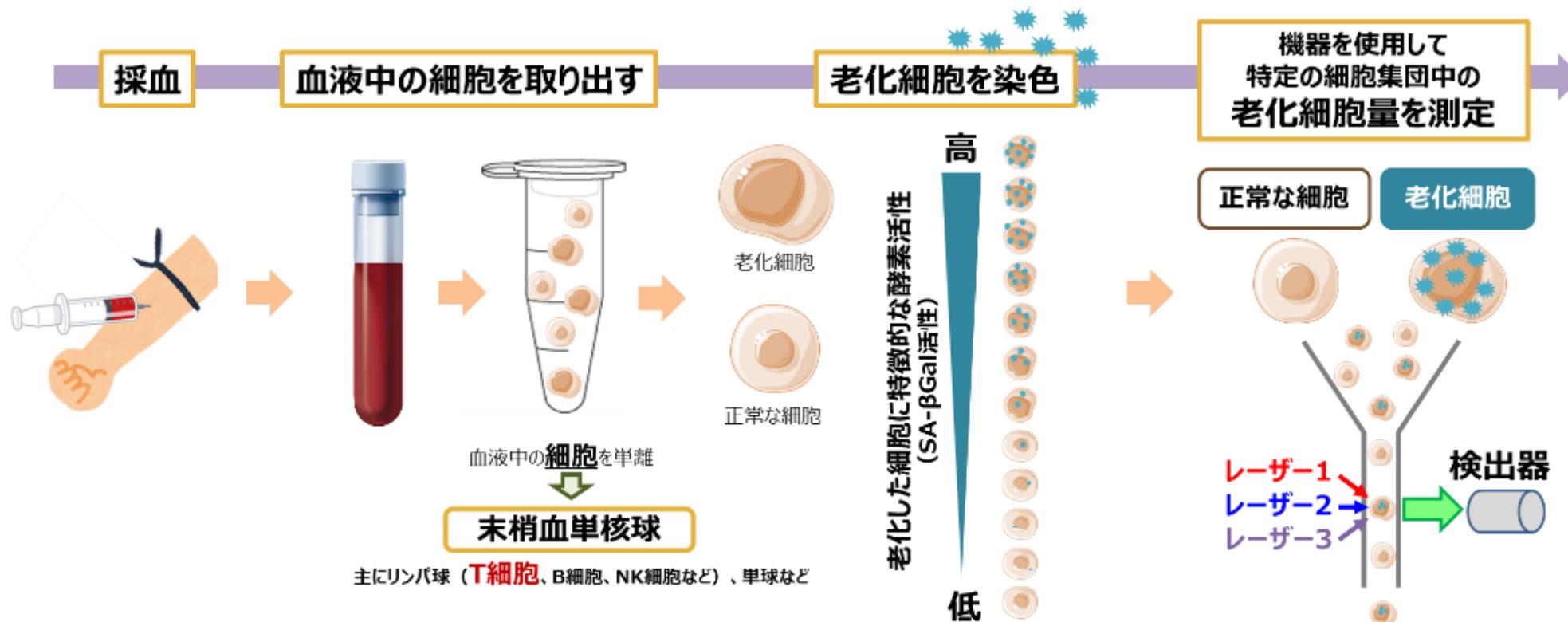
キンミズヒキ抽出物の添加により、老化細胞（青色染色箇所）が用量依存的に減少



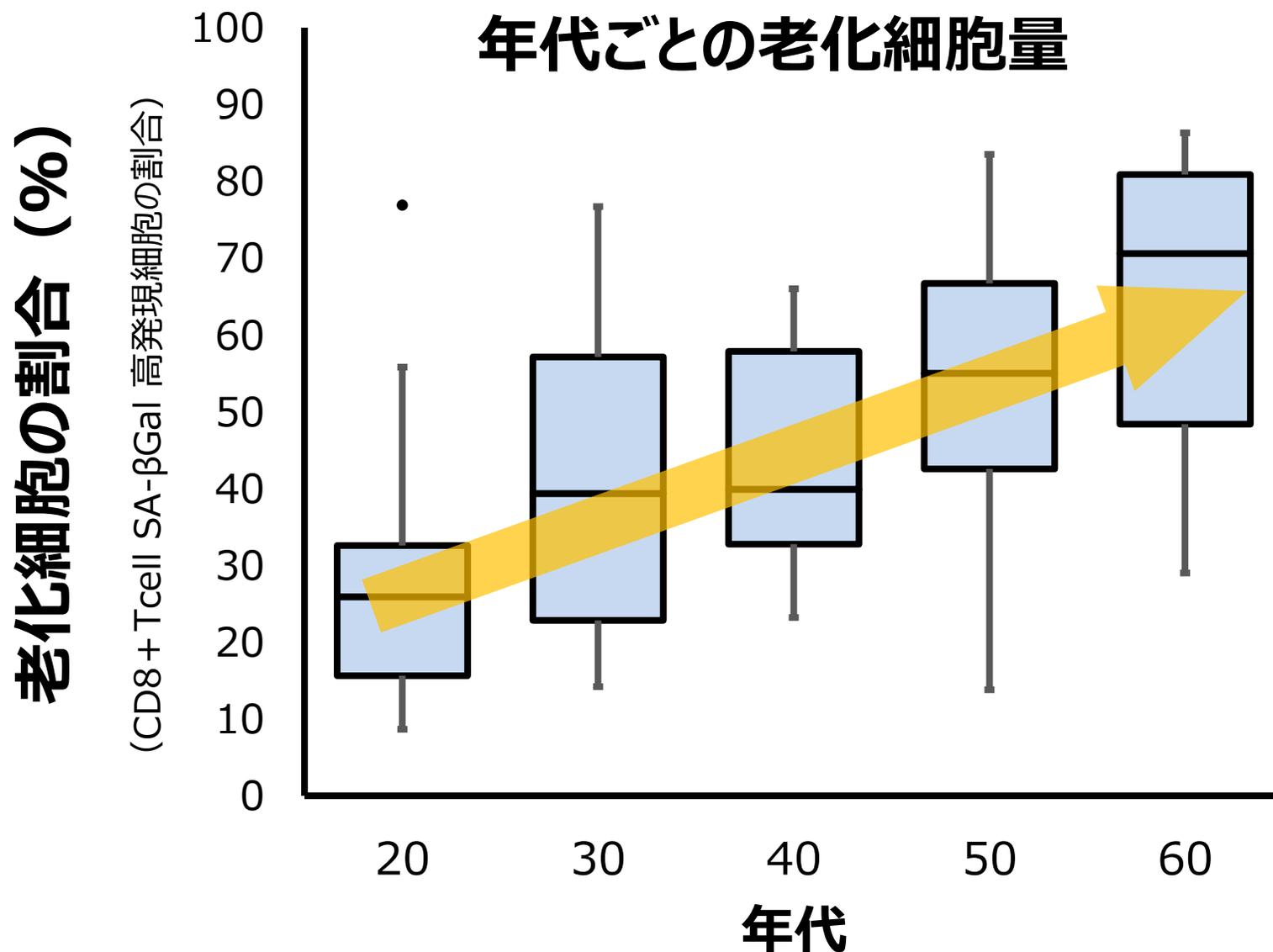
ヒトの老化細胞を測定する技術の概要

課題点：ヒトの老化細胞量を低侵襲かつ短期で多検体の定量した例がない

➡低侵襲で採取できる血液細胞を用いて老化細胞を定量



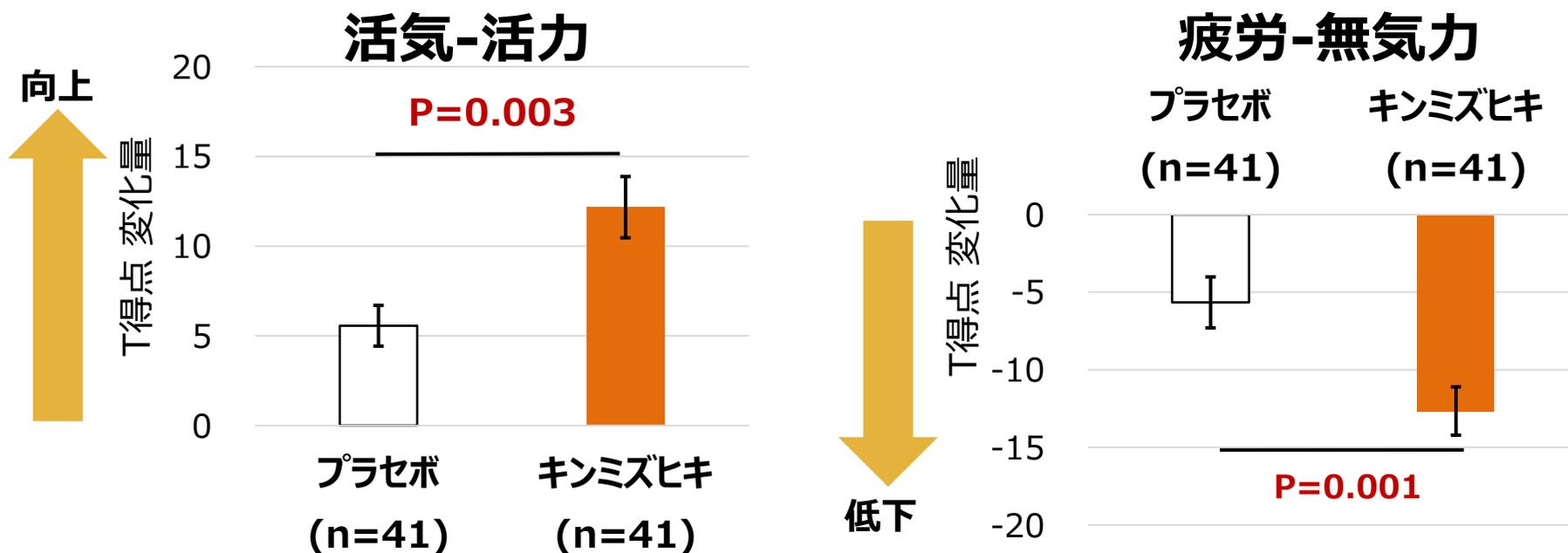
初めて日本人の年代ごとの老化細胞量の測定に成功



脳心血管抗加齢研究会第20回学術大会 発表資料より。
【試験デザイン】断面研究
【対象者】20歳以上70歳未満の男女107名（女性55名、男性52名）
【観察項目】末梢血単核細胞中のT細胞のSA-βGal高発現細胞の割合

キンミズヒキ抽出物による活気活力維持機能（ヒト試験）

試験デザイン	ランダム化プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・40歳以上60歳未満の健常な成人男女 84名 ・POMS2 成人用短縮版のVA（活気-活力）のT 得点が50 点以下かつ、FI（疲労-無気力）のT 得点が50 点以上の者
試験食品	キンミズヒキ抽出物 50 mg/日（Agrimol類3成分として0.2mg/日）または プラセボ
介入期間	12週間
評価項目	主要アウトカム：POMS2 副次アウトカム：SF-36v2下位尺度、やる気スコア、抗加齢QOL共通問診票、SCD-Q



平均値±標準偏差、共分散分析
薬理と治療.2024;52(7):775-789.